カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

メイプル

東北

Vol.55

オーロラの聖地

「イエローナイフのオーロラビレッジ」

カナダ北西部にあるノースウェスト準州の州都・イエローナイフ。オーロラが数多く発生する「オーロラベルト」の真下にあり、「3日間滞在すれば95%の確率でオーロラが見られる」といわれるほどの遭遇率です。壮大な美しさにも定評があり、月に数回、空の四方八方から様々な色彩のオーロラが現れ、幻想的な光景を繰り広げる「ブレイクアップ」という特別なオーロラも出現します。

2019年度
定時総会を開催

2019年5月29日、ホテルメトロポリタン仙台で2019年度定時総会を開催し、会員の皆さまや関係者など約70名が出席しました。高橋協会会長の議事進行のもと、2018年度活動報告や2019年度事業計画、役員体制などが承認されました。

総会に続き、元駐カナダ日本大使で日加協会常務理事の石川薫様を講師に迎え、講演会を開催しました。また、講演会終了後は交流パーティーを開催。講師の石川様にもご参加いただき、食事と会話を楽しみながら賑やかなひと時を過ごしました。

▲議長として議事を進行する高橋会長

▲乾杯の発声を行う矢萩副会長

▲閉会の挨拶を行う大沼副会長

▲最後に参加者全員で集合写真を撮り、お開きとなった

新役員体制

会　長　高橋　宏明　(一社)東北経済連合会名誉会長
東北電力(株)相談役

副会長　新本　恭雄　セルコホーム(株)代表取締役社長
稲木　甲二　(株)仙台放送代表取締役社長
矢萩　保雄　(株)ユアテック相談役
小野寺芳一　(株)七十七銀行常務取締役
一力　敦彦　東北放送(株)代表取締役社長
大沼　裕之　(株)宮城テレビ放送代表取締役社長

監　事　斎藤　義明　(株)仙台銀行代表取締役専務
赤坂　正弘　(株)東日本放送常務取締役

講演会概要

定時総会後の講演会では、元駐カナダ大使で日加協会常務理事の石川薫様から、「多民族共存を目指すカナダと日本の友情」と題してご講演いただきました。

17世紀のフランス統治時代まで遡るカナダの歴史的変遷や、多民族国家としての今日のカナダについて、多くの写真や資料を交えながらご紹介いただくとともに、世界で唯一カナダが東日本大震災後わずか3か月で日本の食料品に対する追加輸入措置を撤廃したことに触れ、カナダ国民の幅広く正確な理解が早い時期に広まったこと、そしてそれは一般市民の日本への応援と友情の表われであったことなどについてお話いただきました。

当協会にとって、両国が築いてきた絆を再認識するとともに、日本とカナダの今後益々の友好関係の深化について思いを馳せる、貴重な機会となりました。

石川　薫
Kaoru Ishikawa

日加協会常務理事
（元駐カナダ大使）

1972年外務省入省、国際社会協力部長、東京大学客員教授、経済局長、駐エジプト大使、駐カナダ大使等を経て退官。
現在は学校法人川村学園理事、同女子大学特任教授、国際教養大学客員教授のほか早稲田大学大学院、明治大学で教鞭をとっている。
著書に、「『未解』のアフリカ」（勁草書房、小浜裕久氏との共著）、「アフリカの火」（学生社）、「統合EUのすべて」（日本経済新聞社、編著）など。

TOPICS

ラグビーワールドカップカナダ代表選手が釜石市内でボランティアを実施

アジアでの初開催、そして日本代表の初めてのベスト8進出など、多くの興奮と感動をもたらしてくれたラグビーワールドカップ。日本代表だけでなく、カナダ・ナミビア代表選手による心温まるエピソードがありました。

台風19号の影響により、10月13日に釜石市の鵜住居（うのすまい）スタジアムで予定されていたカナダ対ナミビア戦は中止になってしまいました。水害の被災地の役に立ちたいとカナダ代表は釜石市で、ナミビア代表は宮古市で汚泥除去作業などのボランティアを行いました。

カナダ代表選手が釜石市の被災地域で泥の除去作業を行う様子はメディアやSNSにも取り上げられ、称賛のコメントが多数寄せられました。

【ラグビーワールドカップカナダ代表】
プールB

カナダ 7	ー	イタリア 48	
カナダ 0	ー	ニュージーランド 63	
カナダ	ー（中止）	ナミビア	

釜石市内でボランティア活動を行うカナダ代表の選手たち

名取市がカナダを相手国とする「復興『ありがとう』ホストタウン」に選定

名取市は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、震災時に多大な支援を受けたカナダの「復興『ありがとう』ホストタウン」に登録されています。

「復興『ありがとう』ホストタウン」とは?

「復興『ありがとう』ホストタウン」とは、被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、震災発生直後から支援してくれた国や地域、その選手団や関係者に対し、復興した姿を見ていただき、感謝の意を表すとともに、住民との交流を行うものです。

名取市は平成30年6月にカナダを相手国とする「復興『ありがとう』ホストタウン」として認定されました。

▲「旧図書館」（どんぐり・アンみんなの図書室）

▲「ゆりあげ港朝市メイプル館」

Maple Letters 2019/vol.55 カナダと名取市とのかかわりをご紹介します

「カナダを知る講演会&市民交流会」を開催

2019年10月1日、名取市文化会館を会場に「カナダを知る講演会&市民交流会」が開催されました。これは、名取市が2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において、震災時に多大な支援を受けたカナダの「復興『ありがとう』ホストタウン」に選定されたことから，復興「ありがとう」ホストタウン推進実行委員会（会長：山田司郎名取市長）の主催で開催されたものです。

当日は、当協会の定時総会でも講演いただいた石川薫様が講師を務め，「心優しいカナダ　人と人、人と自然の調和に生きる」と題した講演が行われたほか、カナダ出身の外国語指導助手（ALT）によるダンスなどが披露され、市民も一緒にダンスを踊るなど参加者全員でとても楽しいひとときを過ごしました。

▲講演を行う石川氏

▲カナダの人たちと市民が一緒にダンスを踊り、会は大いに盛り上がりました

“Maple Letters”
『メイプル東北へのお便り』を募集しています！

皆さまからのお便りをお待ちしています。
カナダに関することならなんでも結構です。
当協会までお気軽にお寄せください。

2019年12月発行
発行人/東北日本カナダ協会　The Tohoku Canada-Japan Society
URL http://www.tohoku-canada.org/
〒980-8550 仙台市青葉区本町一丁目7-1 東北電力(株) 広報・地域交流部内
TEL. 022-799-6061(直)　FAX. 022-227-8390